

九十九王子と熊野古道

紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ

熊野古道

紀伊路 山中渓～紀伊田辺

山中渓

布施屋

海南

紀伊宮原

湯浅

紀伊内原

西御坊

切目

南部

紀伊田辺

聖地
リゾート
和歌山

熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遙拝し、また和歌文や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子の中でも海南市の藤代王子、印南町の切部（切目）王子、上富田町の稻葉根王子、田辺市中辺路町の滝尻王子、田辺市本宮町の発心門王子は、五輪王子として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していきましたが、足利将军家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

旅のお問い合わせは

- 和歌山市観光課 TEL.073-435-1234
- (一社) 和歌山市観光協会 TEL.073-433-8118
- 海南市産業振興課 TEL.073-483-8461
- (一社) 海南市観光協会 TEL.073-484-3233
- 有田市産業振興課・観光協会 TEL.0737-22-3624
- 湯浅町ふるさと振興課 TEL.0737-64-1112
- (一社) 湯浅町観光協会 TEL.0737-22-3133
- 広川町地域振興課・観光協会 TEL.0737-23-7764
- 日高町企画まちづくり課・観光協会 TEL.0738-63-3806
- 日高川町企画政策課・観光協会 TEL.0738-22-2041
- 御坊市産業振興課・観光協会 TEL.0738-23-5510
- 印南町企画産業課・観光協会 TEL.0738-42-1737
- みなべ町うめ課 TEL.0739-33-9310
- みなべ観光協会 TEL.0739-74-8787
- 田辺市觀光振興課・田辺観光協会 TEL.0739-26-9929
- (一社) 田辺市熊野ソーリズムビューロー TEL.0739-26-9025
- (公社) 和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

R7年4月改訂

地球環境保護のために、
植物油インクを使用しています。



和歌山

大阪の天王寺を起点とするJR阪和線は、さしづめ現代の熊野みちといえます。同線の山中渓駅付近は宿場であった古い家並みが所に、古道のおもかげを残しています。和泉の国と紀伊の国の国境である境橋を渡り、紀伊の国最初の難所「雄の山峠」にかかる所に、和歌山県に入って最初の中山王子があります。峠を越すと紀ノ川平野の大展望がひらけ、南国紀州に入ったことを実感します。

紀ノ川を渡り、矢田峠、汐見峠を越えると、祓戸王子から藤代五輪王子（現在の藤白神社）に至ります。ここは熊野一の鳥居、熊野の入り口です。藤原定家が建仁元年（1201）に後鳥羽上皇のお供をした時の「熊野御幸記」に「攀じ登る」と書いた藤白峠、汐ノ峠、糸我峠の厳しい峠を越えて湯浅へと向かいます。けわしい山坂の連続を乗り越えて無事に熊野三山への参詣を果たすよう、上皇・法皇が延べ100回にわたる熊野御幸の際には必ず藤代王子に宿泊をして道中の安全を祈願し、さまざまな法楽を催していました。当時、祓戸王子のある信達の宿を出発し、藤代まで1日、藤代から湯浅まで1日の行程でした。

ルートその1【P4へ】 山中渓駅～布施屋駅

京の都から熊野三山への参詣道「熊野古道」は、「雄の山峠」を越えいよいよ紀伊の国へと入ります。

県道と並行する古道を南下し、和歌山県側に峠を越えると、紀ノ川平野・長峰の連山が広がります。紀ノ川北岸の各王子社をめぐり、紀ノ川を越えると、そこは和歌山市布施屋の町。布施屋（ほしや）の地名はかつてこのあたりの人々が熊野詣での旅人を接待したことに由来する街道上の要所です。

このコースは県道をはじめとした車道を進む区間が多いので、車には充分注意して歩いてください。



山中宿があった山中渓の街並



紀伊國の関所があったといわれる山口王子跡

和歌山県街道マップのご利用にあたって

● この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて歩いていたことを目的に制作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。

● 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。

登山届について

● 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。

詳細は和歌山県警察HPをご確認ください。

・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



ルートその2【P6へ】 布施屋駅～海南駅

紀ノ川の横断を終えた古道は、和歌山市東部の農村地帯を南へと向かいます。江戸時代の大庄屋の遺構を残す「旧中筋家住宅」や弓の名人「和佐大八郎」の墓、点在する王子社等をめぐり、矢田峠を越えると、木の神を祀る「伊太祁曾神社」に至ります。

伊太祁曾神社からは、県道に沿って南下し海南市へ。海南市に入ると、長峰の山々が迫り、これから山を越えるという緊張感が沸き立ってきます。このコースも県道をはじめとした車道を歩く区間が多いので、車には充分ご注意ください。



伊太祁曾神社



五輪王子社のひとつ藤代王子（藤白神社）



土俵がある一壺王子（山路王子神社）

古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当がらや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちはよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。



有吉和子の小説「有田川」の舞台となり、万葉集にも詠まれた「糸我の里」からこのコースははじめます。中将姫ゆかりの「得生寺」や日本第一稻荷として知られる「糸我稻荷神社」をはじめ「熊野古道資料館」等様々な見所が点在しています。

糸我峠・方津戸峠と峠を越えると、熊野古道の宿場として、また醤油醸造の発祥の地として栄え今も伝統を受け継ぐ湯浅の町。町並の風情が往時の賑わいを偲ばせてくれます。



糸我峠



道町の立石道標

湯浅 浅の宿場町を出発し、河瀬王子を過ぎると、藤原定家より100年も前に熊野詣でをした藤原宗忠が「その道はなはだ険阻身力すでに尽く」と嘆いた「鹿ヶ瀬峠」が待ち構えています。そのために近世になると、湯浅から由良の興國寺を経て御坊へと回る行者もありました。鹿ヶ瀬峠には「法華験記」や「今昔物語」の伝承の舞台「法華壇」(広川町の養源寺飛地)があり、峠の茶屋の子孫の人々の手により、千年の時空を超えて毎年4月16日に「円善まつり」の供養会が行われていることに深い感銘を覚えます。原谷に下り定家等が柳の枝に手造りの楓をくくりつけて奉納したという「内ノ畠王子」を経て、御坊市内の小松原の宿(現・湯川神社の南側周辺)に一泊するのが湯浅からの当時の日程でした。また、有田の田村海岸から海路で日高町の比井王子を経て日御崎を回り、松原王子から塩屋王子に至るコースも古くから開けていました。

安珍・清姫伝説の日高川を渡り、塩屋王子付近からは、一路海岸線を切目王子をめざして南下します。切目から一旦山中に入り、光り輝く大海のはるか彼方に牟婁の温泉(白浜温泉)を望むところが岩代、古道は梅のみなべから口熊野田辺へ続きます。

ルートその1【P12へ】 湯浅駅～紀伊内原駅

歌人「藤原定家」をして「崔嵬の險阻(さいかいのけんそ)」と嘆かせた「鹿ヶ瀬峠」が旅人の行く手を阻みます。

広川町門関から大峠・小峠を越えて、日高町原谷へ至る鹿ヶ瀬峠越は今もなお道陥しく健脚向きといえるかもしれません。また小峠を越えると熊野古道に現存する最長の石置道も残されており、静寂の中にいにしえの口マンを感じさせてくれます。

コースとしては日高川の河口に開けた平坦な区間ですが、牧歌的な風景の中にもどこかロマンチックな香りが漂う御坊の町を、ゆっくりと散策してみてください。

ルートその2【P14へ】 紀伊内原駅～西御坊駅

鹿ヶ瀬峠を越えた旅人は、広大な日高平野の山裾を日高川越えへと向かいました。このコースの沿道には安珍・清姫伝説で知られる「道成寺」をはじめ、髪長姫伝説の海士王子、美人王子として知られる塩屋王子等男女の恋物語や美人にまつわる史蹟が数多くあります。

コースとしては日高川の河口に開けた平坦な区間ですが、牧歌的な風景の中にもどこかロマンチックな香りが漂う御坊の町を、ゆっくりと散策してみてください。

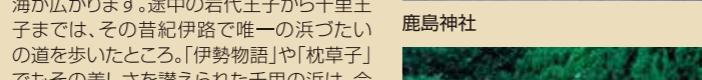
ルートその5【P22へ】 南部駅～紀伊田辺駅

日本一の梅の里、みなべの町から海沿いに南下し、古道の分岐点である田辺の町をめざします。田辺市内に入り、出立王子へ。ここは、それまで導いてくれた海に敬意を表し、海水に身を浸して身を清めた潮垢離の儀式が行われたところであり、古道はいよいよここから山また山の中辺路に進むこととなります。又会津川を渡った田辺のまちなかには、中辺路と海まわりの大辺路の分岐点にあたる、道分け石も残ります。

ルートその4【P20へ】 切目駅～南部駅

熊野古道の各コースの中で、真っ青な紀州の海を最も身近に感じいただけるこのコース。中山王子からの榎木峠を越えると、海が広がります。途中の岩代王子から千里王子までは、その昔紀伊路で唯一の浜づたいの道を歩いたところ。「伊勢物語」や「枕草子」でもその美しさを讃えられた千里の浜は、今も往時の面影を残しており、きれいな砂浜を求めてアカウミガメも産卵にやってくるほどです。このコースの終点は、日本一の梅林や南高梅の梅干の産地として知られるみなべの町。散策のお土産に最高です。

鹿ヶ瀬峠・大峠の椎の大木



鹿ヶ瀬峠・大峠の椎の大木

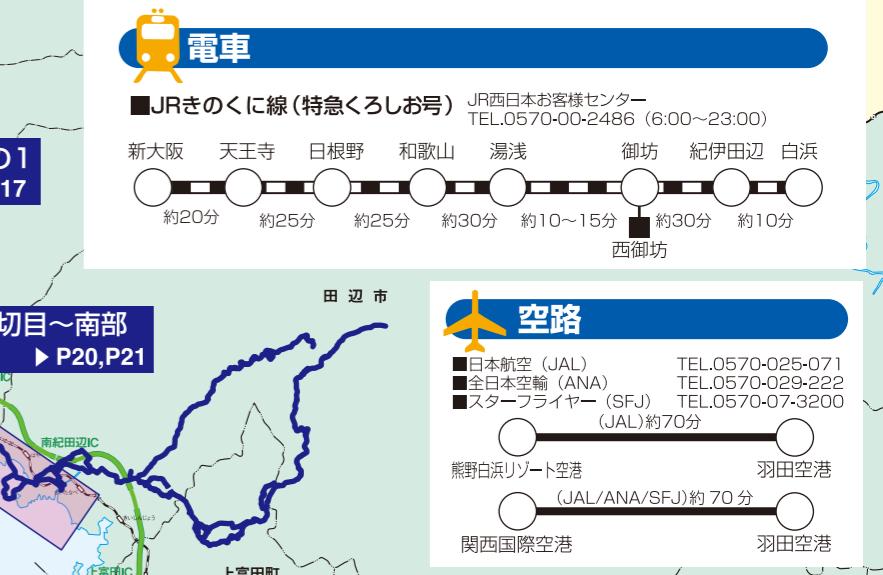
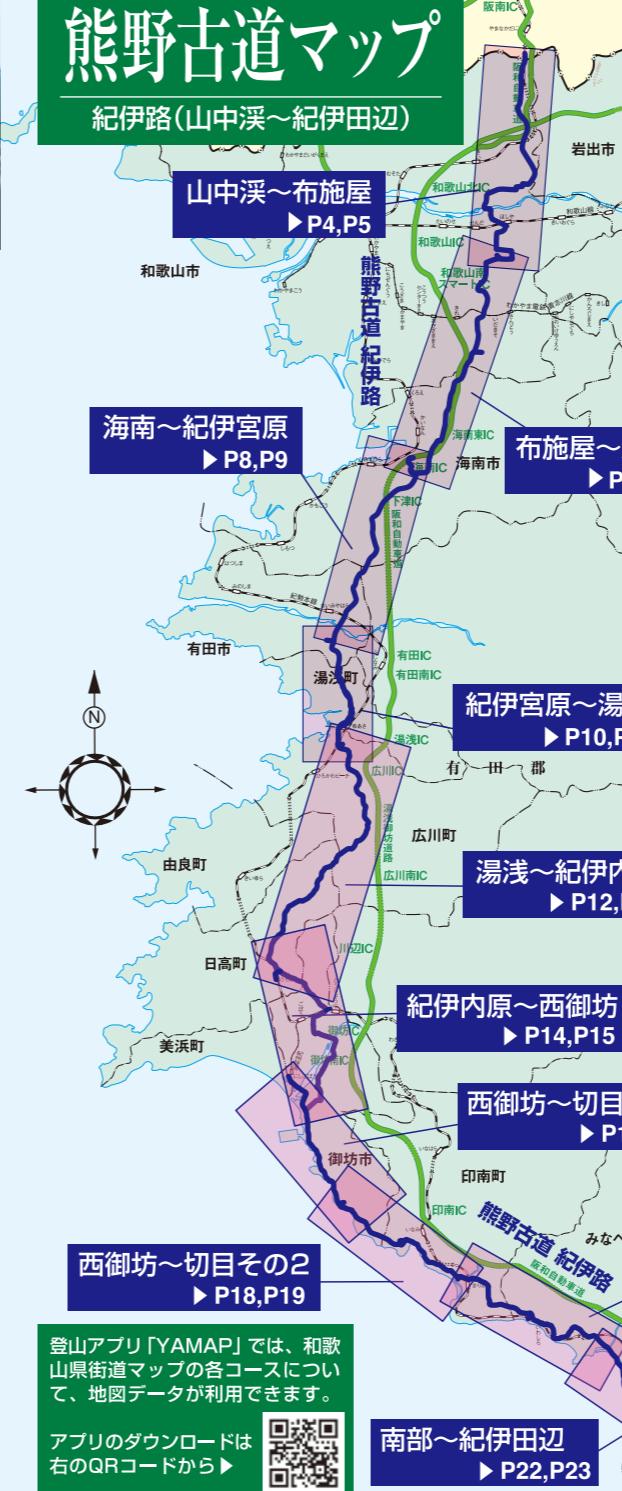
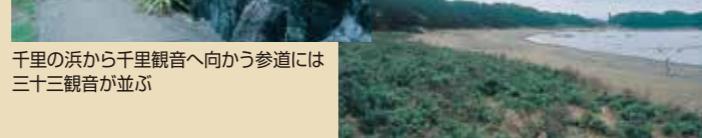
安珍・清姫伝説で有名な道成寺



ルートその3【P16へ】
西御坊駅～切目駅

暴雨川として知られた「日高川」を越えると、紀伊水道の海明かりの道を南に向かって進みます。このコース全体を通して、紀州の明るい海を満喫していくことでしょう。

コースの前半には、悲嘆と怒りに狂った清姫が安珍を追ったという伝説にまつわる史蹟が、後半の印南町内には、熊野九十九王子の中でも別格とされる「五輪王子」の一つ、切目王子等があり、歴史や文化にも存分に触れていただくことが出来ます。



やまなかだに ほしや [山中渓駅(大阪府阪南市)～布施屋駅(和)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間)

步行距離 17.5km
標準步行時間 4時間45分
標準所要時間 6時間10分

大阪府の最南端阪南
雄ノ山峠、紀ノ川を

市山中溪を出発し、熊野古道はいよいよ「泉州」から「紀州」に入ります。
え、和歌山市布施屋まで歩く和歌山県の入口にあたるルートです。

面影を残す中山宿からのスタートです。日本最後の仇討跡が残る境橋を過ぎると和歌山市に入り、山王王子跡(現在は中山王子町)と和歌山市内最初の王子跡になります。比較的だらかならルートですが、県道等の舗装道を歩く部多く、交通量の多いコースとなりますので車には充分注意して歩いてください。和歌山市内は、道標や導き石などがあり、分かりやすく整備されています。



スタート地点までのアクセス

「山中湖駅」からスタート。
「天王寺駅」からは、JR阪和線
を利用。
「和歌山駅」からは、快速列車で
詳しくは、JRおでかけネットをご
下さい。



お帰りは

「布施屋駅」でゴールし、JR和歌山線で「和歌山駅」に戻るのが基本です。
また、約2時間先に進んで、「伊丹・祁曽駅」まで歩き、和歌山電鐵志川線で「和歌山駅」まで戻る方法もあります。



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

沿道の花ごよみ

山中渓駅周辺
サクラ…見頃 3月下旬～4月中旬
力侍神社
サクラ…見頃 3月下旬～4月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります。

【布施屋駅(和歌山市)～海南駅(海南市)】

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 17.2km
標準歩行時間 4時間40分
標準所要時間 6時間50分

紀ノ川の南岸にあたる、和歌山市布施屋から、矢田峠・汐見峠と二つの峠を越えて熊野の入口海南へ向かうルートです。比較的平坦な道をのんびりと歩いていただくことができます。

このコースは現在も生活道路として利用されているところがほとんどで、古道の面影を残すところはほとんどありません。ただし旧中筋家住宅をはじめとした和佐地区、四つ石地蔵周辺の多田地区等で昔の面影を残した街並みをみることができます。通行量の多い区間もありますので車には充分注意してお歩きください。



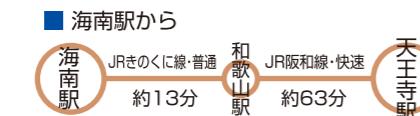
スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJR和歌山線を利用して、「布施屋駅」へ。



お帰りは

「海南駅」でゴールし、JR紀勢本線で「和歌山駅」まで戻ります。また、「海南駅」から、天王寺・新大阪方面に直通の特急列車も運転しています。



ひとくちメモ

コースの沿道各所には、農産物の販売所が点在しています。春のタケノコや初夏のモモといった新鮮な農産物を買うことが出来るのも楽しみのひとつです。海南駅に少し早くゴールしたのなら、紀州漆器で有名な黒江の町並を歩くのもおすすめです。海南の観光の全てが分かる案内センター「かいぶつくん(海南駅内)」で、アドバイスをもらいましょう。お問い合わせ:海南市物産観光センターかいぶつくん TEL.073-484-3233

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

布施屋駅	8:40	川端王子	8:45	和佐王子	9:30	矢田峠	9:55	平緒王子	10:45
					9:40		10:05		10:50
					(和佐大八郎の墓も見学)				
・ 伊太祁曾神社	11:10	奈久智王子	11:55	武内神社	12:20	四つ石地蔵	12:45	松坂王子	13:25
					12:25		12:55		13:45
					(ここで昼食休憩:お弁当)				13:50
・ 汐見峠	14:05	春日神社	14:10	松代王子	14:30	菩提房王子	14:56	海南駅	15:15
					14:50		15:00		15:45
					(少し長い目の休憩)				

高積山
サクラ…見頃 3月下旬～4月上旬
奈久智王子手前
桃の花…見頃 4月上旬
矢田峠周辺
みかんの花…見頃 5月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路[海南駅]～紀伊宮原駅

紀伊宮原駅→湯浅駅(10)

藤白坂は、古道を歩きはじめて最初に出会う難所です。坂の手前藤代王（藤白神社）は熊野九十九王子の中でも特に格式の高い五駄王社のひとつで、熊野詣での要所として賑わったところです。紀伊宮原までは二つの峠を越える険しい道が続き、往時の熊野詣でを体感できます。

熊野の入口とされた海南から、藤白坂・拝ノ峠と二つの峠を越え、有田川北岸の有田市宮原へ抜けるルート。古道最初の難所ともいえる藤白坂は昔の趣を残しており、いにしえの雰囲気をお楽しみいただけます。

[海南駅](海南市)～紀伊宮原駅

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間)

步行距離 13.6km
標準步行時間 4時間20分
標準所要時間 6時間50分

100m — 0.8km — 0.4km — 0.8km — 0.2km — 0.2km — 1.2km — 0.2km — 1.5km



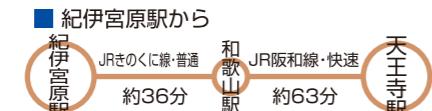
スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJRきのくに線を利用して、「海南駅」へ。また、新大阪・天王寺方面から「海南駅」へ直通の特急列車も運転しています。



お帰りは

「紀伊宮原駅」でゴールし、JRきのくに線で「和歌山駅」まで戻ります。



ひとくちメモ

このコースの沿道は全国に知られる有田みかんの産地。秋から初冬にかけてみかん狩りを楽しむことが出来ます。

また、紀伊宮原駅からタクシーで約5分のところに、有田川温泉もあります。

(日帰り入浴可)
お問い合わせ：有田市観光協会
TEL 0727-22-2624

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

沿道の花ごよみ

藤白神社
サクラ…見頃 3月下旬～4月上旬
沿道各所

みかんの花…見頃 5月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります

紀伊宮原駅(有田市)～湯浅駅(湯浅町)

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

歩行距離 7.0km
標準歩行時間 2時間00分
標準所要時間 3時間50分

有田川北岸の宮原から、有田川を
るルートです。醤油醸造発祥の

渡り、糸我峠を越え、熊野古道の宿場として賑わった湯浅へ抜け
地湯浅はゆっくり歩いていただくにふさわしい町並が残っています。

このコースは有田川を渡り、万葉の里糸我から、醤油醸造発祥の地湯浅へ峠を越えるルートで、中将姫伝説ゆかりの得生寺や、日本最古のお稻荷さんといわれている糸我稻荷神社、湯浅の重伝建地区的歴史ある町並みなど、短い距離の間に多くの見所が点在しています。湯浅は醤油醸造発祥の地として知られ、今もなお伝統的な手作りの製法を頑固に守っている店もあります。古道を歩く際のおみやげには非伝統的の湯浅醤油をお試しください。



スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJRきのくに線を利用して、「紀伊宮原駅」へ。



お帰りは

「湯浅駅」でゴールし、JRきのくに線で「和歌山駅」まで戻ります。また、「湯浅駅」から天王寺・新大阪方面に直通の特急列車も運転しています。



ひとくちメモ

湯浅駅及び町内観光施設で湯浅町マップをお配りしています。

便利なマップを用いて、町並みめぐりや、お買い物をお楽しみ下さい。

お問い合わせ：(一社)湯浅町観光協会
TEL.0737-22-3133

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

紀伊宮原駅	宮原の渡し場跡	得生寺	糸我稻荷神社(くまの古道歴史民俗資料館)	10:00	10:10	10:15	10:30	10:40	10:44(歴史民俗資料館の見学も面白い)	11:15
		糸我王子	糸我峠	逆川王子	方津戸峠	北栄橋				

11:23 11:30 11:50 12:00 (峠で小休止) 12:20 12:55 13:03 13:05 13:25
(少し遅い昼食休憩：お弁当)

道町の立石道標 湯浅駅 湯浅駅から町内マップを片手に「重要伝統的建造物群保存地区」を散策
13:32 13:40 13:45 (所要時間1時間30分程度 再度湯浅駅に15時20分に到着)

沿道の花ごよみ

沿道各所
みかんの花…見頃 5月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります。